

下水道のしくみ

私たちが家庭で使って汚れた水（汚水）は、家の下にある排水管を通して下水道管に流れていき、最終的に下水処理場に運ばれていきます。



下水道汚泥のリサイクル



■坂本北部クリーンセンター
コンポスト製造機

エネルギー利用
汚泥の有機分解などによって発生するメタンを主とした消化ガスを発電用燃料などとして利用しています。また自動車の燃料や都市ガスとして供給しています。

緑地・農地利用
コンポスト化して、肥料や地力増進資材として農作物の生産力の維持に役立てることができます。

建築資材利用
下水道工事の埋め戻しに利用される他、セメント原料、コンクリート、骨材、ブロック、レンガ等の原料としても利用されています。

下水道の普及とともに増え続ける下水道汚泥は、肥料やレンガなどに再資源化する技術が注目されています！



中津川市の取り組み状況

農業集落排水事業の5処理場では、脱水処理をした汚泥をコンポスト肥料として配布しています。残りの4処理場では、汚泥処理センターへ運搬し、処理しています。汚泥処理センターでは、汚泥処理の過程でリンを回収し、肥料メーカーへ販売しています。

公共・特環下水道処理施設で発生した脱水汚泥の約60%は、セメント原料、約20%を肥料の原料として、有償で処分しており、約18%は焼却処分、残りの2%を埋め立てをしています。これらの、汚泥の処理・運搬経費に年間約81,000千円がかかっています。